

一登り降りの中で

陣見山

標高 1,723m

山行実施日

2016 年 5 月
8 日

メンバー

U 村(L)、H 谷
川(S L)、O
知、W 部、S
水八、O 栗、
知人 4 名

初めての 50 の山でのリーダー。列の後から付いて行くのとはやはり違っていて、最後尾について皆さんの足の進め方を気にする。

今回がハイキング 2 回目の M さんを中心に考えた方が良くと思い、その方に進み方を合わせようとした。

朝からトレランの大会が同じ山道であり、すれ違う時には、「みんな、来たよ。山側に避けて！」と声を掛け一斉に道の脇へ。こちらが「おはようございます。」「頑張つて。」と声を掛けると、「すみません、ありがとうございます。」と優しい声が返ってくる。トレランの方は胸側に 500 m l の水分を 2 つ付け、タツタカ、タツタカと走っていく。膝が痛くならないものかなと勝手に心で心配はしてみるが、鍛えているのだろう、大抵の方は元気に走っていく。

私達は、上を見上げては雲や木々の緑に目を休め、「斑入りの葉っぱか？」と足を止める O 栗さんのお友

達。今日、参加された地元の方も陣

見山は始めて登るとのこと。トレランの方達とすれ違った後は、登りでは 2 名の方を見掛けた位であった。それでも適度に 50 m 位のやや急な登り坂があり、下りがあり、短めの急登、足にはほど良い感じであった。頂上に着くと大きな電波塔がドーンと構えていて、食事は少し広めの道の脇で摂った。

「釜で新鮮な筍を煮てきたんだよ。」と会長さんからおすそ分け。味がしっかりしみていて柔らかく美味しい竹の子でした。また、他の皆さんからもそれぞれお菓子やら果物やら配り合い、賑やかな食事の時間。O 栗さんのお友達の方がたは、去年 10 月の武甲山植樹の際にもお見かけした自治会の A 会長さん、80 歳を過ぎても現役バリバリの植木職人の T さん、物静かな S さん、ハイキング 2 回目の M さん達を中心に楽しいおしゃべりの始まり。植木職人

の T さんは先日、仕事先で鍵を掛けた車から剪定ばさみやチェーンソーまで持っていかれた話。秩父夜祭りには山車に乗って太鼓をたたくとのこと。その他にも地元の話が満載でした。

お腹が一段落した後は、地図を頼りに下り道。山道に時々藤の花びらが彩られており、木々の緑と土の道と微妙な色加減でした。

車道に出てしばらく行き、樋口駅の手前に大きな石のとうばにしばし足を止めてみんなで見入っていました。樋口の街はお店も少なく、秩父線の中では淋しい街の方なのだ、S さん、M さんが言っていました。人が大きな街の方へと流れ、残った人たちが街を守っているような、そんな光景でした。

予定よりも早く着き、これから長瀬へ行って反省会！とのこと、帰り組と分かれて解散となりました。いつもとは違った地元の方達を含めた楽しい一日でした。皆さま、お疲れ様でした。

コースタイム

波久礼駅 8:50、登山口 9:00、虎ヶ丘城址 10:09-10:22、大槻峠、陣見山頂上（昼食）11:40-12:25
榎峠 13:03、樋口駅 14:07 解散

